

大洗研究所（常陽）
 地震・津波等に関するコメントリスト

日付	会合	回数	No.	資料名	コメント	適用 条文	回答
2020/9/4	審査 会合	第370回	1	敷地の地 質・地質構 造	多賀層群中にある小断層について、ボーリング孔 毎に分布に差があるように見受けられることから、 分布の状況について整理すること。		10/29ヒアリング 「敷地の地質・地質構造について」 にてご説明
	"	"	2	"	M1段丘堆積物と下位の東茨城層群の境界につ いて、海成の礫と河成の礫との区別がつかぬか、そ の層相の特徴を明確にし、境界の設定根拠を説 明すること。		"
	"	"	3	"	コア観察で久米層以浅に断層が確認されていな いことを、敷地に将来活動する可能性のある断層 等がない判断根拠のひとつとしていることについて、 資料に記載すること。		"
	"	"	4	"	H29.3.30以降に実施した追加調査について、そ の目的を明記すること。また、ボーリング調査位置 図について、評価に用いたボーリング孔が分かるよ う資料を修正すること。		"
	"	"	5	基準地震 動Ssの策 定	「参考3 常陽地点のPS検層結果」は、参考で はなく、本文「3.地下構造評価 3.2敷地の解放 基盤表面の設定」に資料構成を見直すこと。		10/12ヒアリング 「基準地震動Ssの策定について」に おいてご説明
	"	"	6	"	解放基盤面が深いことを踏まえ、建家基礎下レ ベルの入力地震動について示すこと。		10/12ヒアリング 「建物基礎下レベルでの地震動評 価について」にてご説明
2020/11/6	審査 会合	第382回	7	基礎地盤 の安定性 評価	地下水位について、夏海湖の水面高さT.P.29m であるのに対し、設定地下水位はT.P.6.7mであ り、夏海湖との関係性、他の地下水位観測デー タを含め、地下水位の設定の妥当性を説明する こと。	3条 4条	12/21ヒアリング 「耐震重要施設の基礎地盤及び周 辺斜面の安定性評価について」にて ご説明
	"	"	8	"	抑止杭の周辺地盤について、地盤と施設のどち らか、新規制基準適合上の取り扱いを説明する こと。	3条 4条	次回以降ご説明
	"	"	9	"	周辺地盤変状による影響について、埋戻土の液 状化影響を説明すること。また、周辺地盤の変状 による影響だけでなく、すべり安全率に対しては施 設を横から押す起動力となることも考えられるた め、抑止杭の構造、成立性にどのような影響を与 えるか説明すること。	3条 4条	"
	"	"	10	"	解析用地盤物性値について、HTTRとの相違点 を整理し、使用した物性値が「常陽」とHTTRで 本質的に変わらないことを定量的に示すこと。	3条	"
	"	"	11	"	すべり安全率の評価結果について、最小すべり安 全率発生時刻が異なるため、各発生時刻の結果を 比較し、説明すること。	3条	"
	"	"	12	"	各断面について、建物基礎底面のみでのすべり 安全率の評価結果を提示すること。	3条	"

大洗研究所（常陽）
地震・津波等に関するコメントリスト

日付	会合	回数	No.	資料名	コメント	適用 条文	回答
	"	"	13-1	"	最小すべり安全率を示す時刻の抑止杭の応力分布を示し、応力が適切に算定されているか説明すること。	3条 4条	"
	"	"	13-2	"	抑止杭の応力は時々刻々深度方向に変わることから、抑止杭にとって安全側かの観点で評価方法の妥当性を説明すること。	3条 4条	"
	"	"	14-1	"	抑止杭による補強前後に地盤に生じるせん断応力の変化を示し、現在の設計・評価に相互作用が影響しないか説明すること。	3条 4条	"
	"	"	14-2	"	抑止杭と主冷却機建物が非常に近接しているため、建家と杭の相互作用（建家が地盤を介して杭にもたれる現象や杭反力が建家に過剰な荷重を与えていないか）を説明すること。	3条 4条	"
	"	"	14-3	"	抑止杭設置による原子炉建物、主冷却機建物の耐震評価（建物・機器）への影響について説明すること。	4条	"
	"	"	15	"	抑止杭の対策効果を確認するため、抑止杭の設計仕様、施工方法及び施工管理項目について説明をすること。	3条 4条	"
	"	"	16	"	抑止杭のモデル化について、根入れ深さが妥当であること等、設計方針を踏まえ説明すること。	3条 4条	"